

## ののいち里まち倶楽部ボランティアガイドと歩く 野々市市内ウォーキング



市の魅力再発見と健康づくりを目的に、組合としては初の開催となった当イベントには、およそ90名(管理職及び組合員家族含む)もの参加がありました。6月9日(日)当日は好天に恵まれ、参加者たちはさわやかな初夏の風に吹かれて、それぞれ市役所を後に2時間弱の旅を楽しみました。

2~3km程度の行程を、ゆっくり歩いてみると、これまで足早に通り過ぎて気が付かなかった、古い歴史の痕跡や、美しい自然、雄大な景色を堪能することができました。なお、各コースには観光ボランティアガイド・ののいち里まち倶楽部のメンバーが随行し、史跡等の詳しい解説をしてくださいました。

### 【コース1】縄文の里御経塚を訪ねて 徒歩約3km

御経塚遺跡・ふるさと歴史館、御経塚東公園、佐那武神社、馬場川遊歩道、泉の広場・経塚など

### 【コース2】北国街道歴史散歩 徒歩約2km

布市神社、法林寺、樫田富嶽堂、喜多家住宅前、郷土資料館、北国街道町並み散策など

### 【コース4】富奥の史跡と大木を訪ねて 徒歩約4km

末松廃寺跡史跡公園、大兄八幡神社、県立大学、中林のキウイ畑、林郷八幡神社の大椎など



↑コース4 中林の畑散策中、思いがけずヘンなもの発見!



↑コース2 農事社跡

コース2 最中が美味しい和菓子店 →



里まち倶楽部会長の帆苺さんとメンバー

野々市の見所は、商業・娯楽施設だけではありません



コース4 末松廃寺跡 ↑

## 参加者の感想

野々市市内ウォークに参加して15年ぶりに御経塚遺跡を歩いた。真横に国道があるとは思えない風通しのよいきれいな公園だ。竪穴式住居に入ってみると20名ほどの参加者が全員入れるくらい立派な家だった。

一帯の村には1200年ほど期間、約60人が住んでいたのだという。それだけ年月があればもっと人口が増えそうだと考えたが、成人の縄文人の平均寿命は31歳なのだという(乳幼児の死亡をカウントすればもっと短いらしい)。

「短い時間を生きた縄文人の力を感じてくれれば」とはふるさと歴史館の市村さんの言葉。資料室に無造作に積まれた石斧、荒く削った石器の一つひとつには持ち主がいて、過酷な自然に挑戦して続けて積み上げた1200年なのだと確かな実感があつた。

保険年金課 庭田 陽介



コース1 竪穴式住居内部 ↑



コース1 野々市で一番大きな榎の木 ↑